土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名	国道182号　設計業務委託（交通安全・下加茂工区）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	福山市加茂町下加茂(X=-157324.140,Y=107944.503)	北　緯	34° 34' 34.1840″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和2年11月10日～ 令和2年11月12日	東　経	133° 20' 35.4469″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 33.00m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種		試錐機	東邦DO-D
総削孔長	5.00m			エンジン	ヤンマーTF90M
ポンプ	東邦BG-3C				

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	31.10	1.90		砂質土		暗褐	緩い		盛土 砂は細～中砂主体とし，粗砂が混じる 径3cm以下の亜角礫を少量混入する GL-0.7m付近，コンクリート殻を混入する	11/11 1.20		6	1.15 1.45	3	2 70	1 130	6 300							
2	30.50	2.50		礫混じり砂		褐灰	中ぐらい		河床堆積物 砂は中～粗砂主体 径1～3cm以下の亜角礫～亜円礫を20～30%混入する			20	2.15 2.45	6	9	5	20 300							
3	29.70	3.30		花崗岩		茶灰			花崗岩の強風化土 風化が著しく進行し，砂質土状～砂状コアで採取される 岩級区分：DM			50以上	3.15 3.28	32	18 30		50 130	130						
4	29.00	4.00		花崗岩		淡茶灰			花崗岩の風化土 風化が進行し，砂～細礫状コアで採取される 岩級区分：DH															
5	28.00	5.00		花崗岩		淡茶灰			見かけ上柱状コアで採取されるが，潜在亀裂が発達している 岩深部まで風化し軟質である 所々，硬質な部分を残す 岩級区分：CL級															11/11
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								